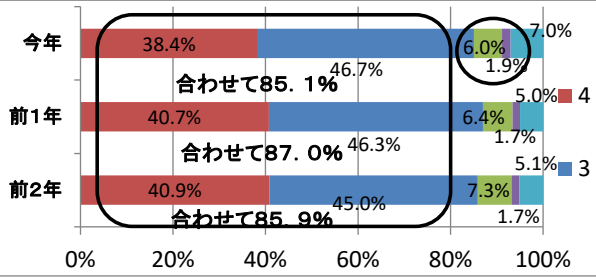
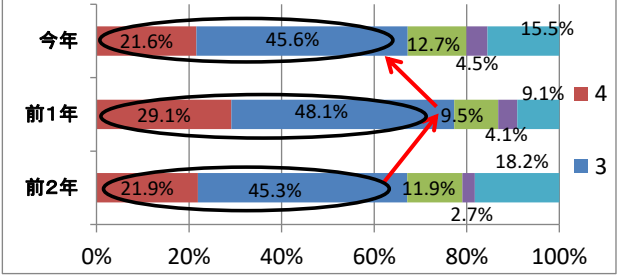


＜項目1＞本校の専門的な学習内容は充実していると思う



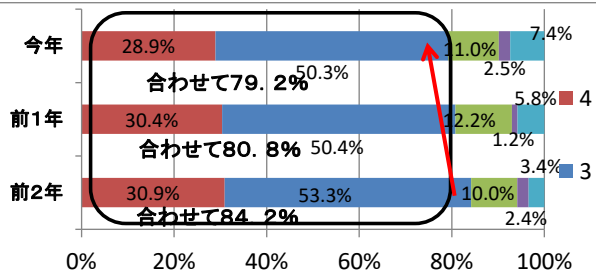
「④+③」の割合が生徒肯定感を表していると考え、今年(85.1%)←前1年(87%)←前2年(85.9%)とほぼ安定している。ただ、今年で言えば残り7.9%(42名)が否定的、7%(37名)が分からないと回答している。この声を大切にしたい。

＜項目6＞先生方は生徒の進路指導に熱心に取り組んでいる



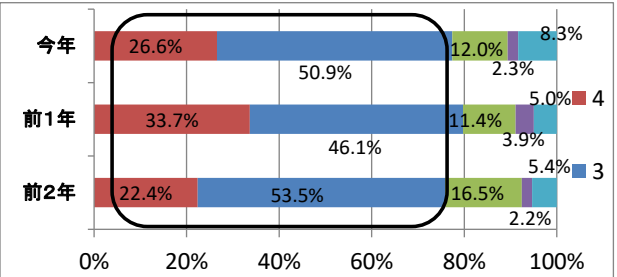
「④+③」の肯定感をみると前2年(67.2%)→前1年(77.2%)→今年(67.2%)と、昨年から-10%の状況。今年、どの学年が特に肯定感を下げているのか、学年別データを再点検してみる必要がある。種々のデータを利用して、生徒の現在位置を常に把握したい。

＜項目2＞学校は基礎学力の定着に力を入れていると思う



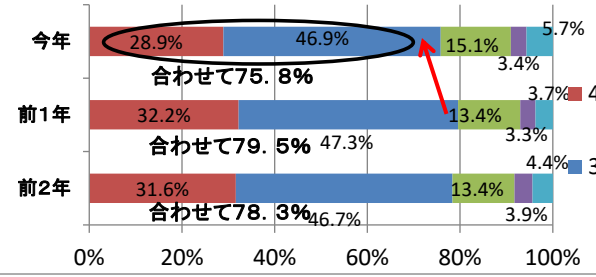
「④+③」の肯定感をみると、毎年高い割合を維持している。約8割。毎日のマナトレや放課後ステップなどの地道な取り組みが評価されているのではないかと。ただ、ジリジリと減少している点が気になる。生徒の日々の取り組みを常に評価し、それを生徒へフィードバックする動きを心がけたい。

＜項目7＞学校は健康で安全な学校生活に配慮していると思う



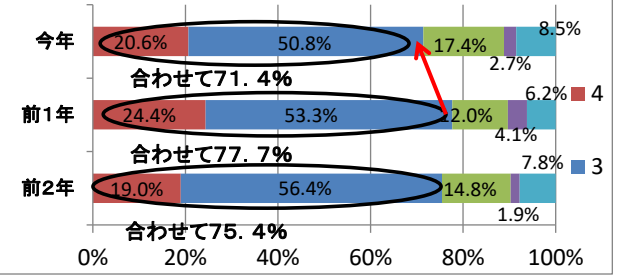
こちらも高い肯定感を毎年維持している。(今年77.5、前1年79.8、前2年75.9)。施設・設備の改善等は事務室との連携が必要であるが、様々な指摘には速やかに対応したい。心の問題、身体の問題、いじめ等の問題には、管理職と保健部等の関係部署が常に連携して動きたい。管理職が必ず関わり動く。

＜項目3＞資格取得や検定合格に対し、積極的に指導が行われていると思う



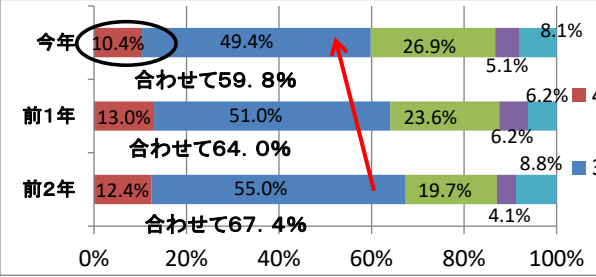
昨年から今年にかけて、「④+③」の肯定感が減少している。-3.7%減。生徒が学習へ向かう「動機付け」として、「将来の進学・就職に備える」ことに加え検定や資格取得挑戦もその要素となり得る。この分野の取り組みや結果を、今後更に、校内でオープンにしてゆく。

＜項目8＞先生方は基本的な生活習慣が身につくように丁寧に指導をしている



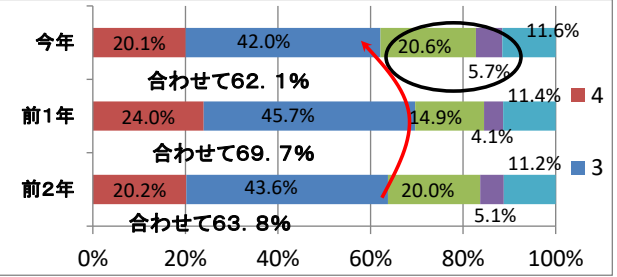
昨年から今年にかけて、「④+③」の肯定感が減少している。-6.3%。今年で言えば、残り20.1%(106名)は否定的。8.5%(45名)は分からないとの回答。否定的の意味を考えたい。我々の指導が「丁寧ではない」とは、例えば、授業中の居眠りを「そのまま」にしていることを生徒はどう見ているのか…

＜項目4＞意欲的に授業に取り組めるような環境作りが出来ていると思う



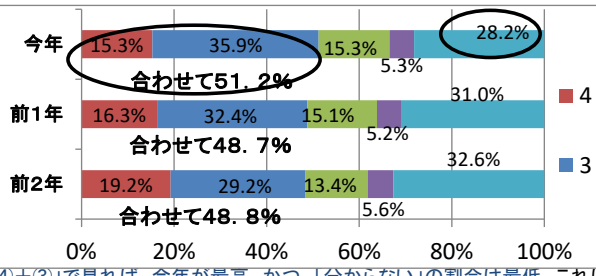
「④+③」の肯定感が年々減少している。加えて、強い肯定感④だけ見ても今年が最低。授業への環境作りとは、もちろん整理整頓もだが、規律ある授業進行、教材の工夫、テンポある・驚きのある授業内容、学習の目的・目標の明確な設定…などが考えられるが。

＜項目9＞先生方は生徒の悩みや相談に対して親身に対応していると感じる



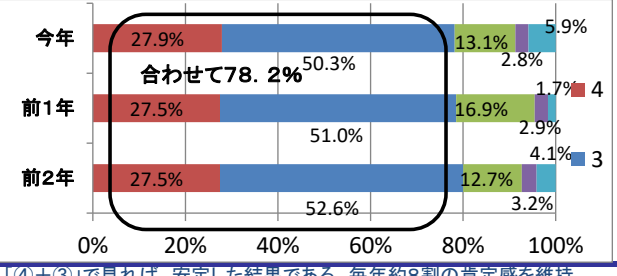
この項目は、生徒との信頼関係構築に関わる重要事項。この3年間では、今年が最低。今年の否定的意見26.3%(139名)、分からない11.6%(61名)の存在に注意したい。我々教員の気持ち「うまく伝わっていない」ということか。生徒とのコミュニケーションを、更に丁寧に注意深くとる必要があるのかもしれない。

＜項目5＞進路指導室は利用しやすく、就職や進学のための情報を調べやすいと思う



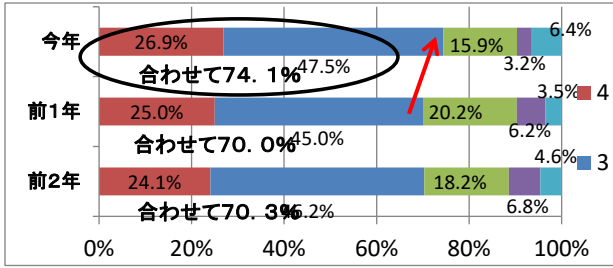
「④+③」で見れば、今年が最高。かつ、「分からない」の割合は最低。これは良い傾向である。係の先生方の地道な努力が少しずつ表に現れて来ている。更に上昇させたい。

＜項目10＞生徒は頭髪・服装をきちんと整えていると思う



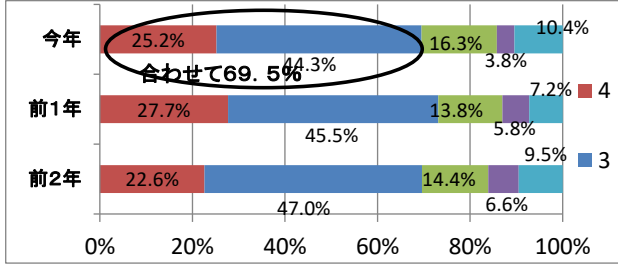
「④+③」で見れば、安定した結果である。毎年約8割の肯定感を維持。これは、定期的な整容検査など、各学年団・生徒指導部の先生方の日頃のご指導のお蔭である。今後も、足並みを揃えた指導を心がけたい。また、指導の徹底を更に追求したい。学校経営の根幹に関わると認識している。

<項目11> 気持ちの良い挨拶が飛び交う学校であると思う



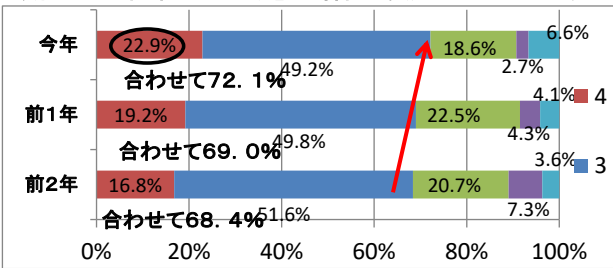
「④+③」肯定感を見ても、特に強い肯定感④だけを見ても今年が最高割合。生徒と共に、我々教員も心がけたいこと。風通しの良い学園作りは、まず挨拶から。今後は、肯定感8割を超える状況を創り出したいところ、ご協力をお願いしたい。

<項目16> 学校は女子校らしい学校づくりに努めていると感じる



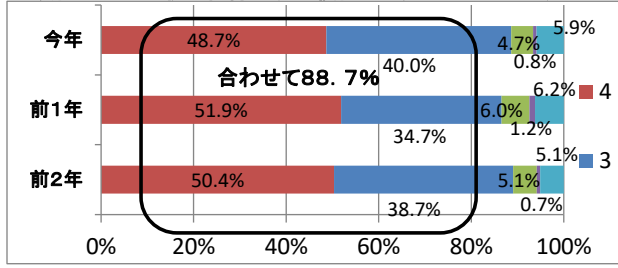
「④+③」の生徒肯定感が毎年約7割。施設設備を更に充実させる(事務室との連携)と共に、各行事の見直し、さらには、我々教員の「日頃の言動、服装…」などなど、丁寧に点検を進めてゆく。学校としての品格、誇り…に関わることだと認識している。

<項目12> 細部まで心配りをして掃除が実施されていると思う



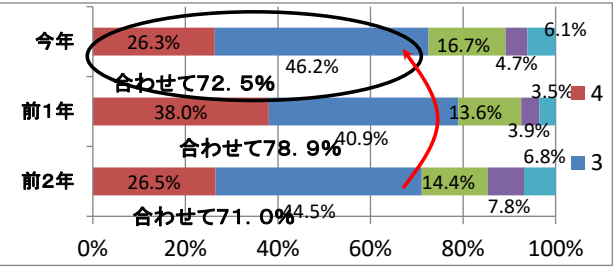
「④+③」の肯定感の割合が年々上昇している。大変よい傾向が見える。特に④だけを見ても良い。先生方の丁寧な生徒指導が効果をあげている。日頃のさりげない指導、その場での指導が大切である(共に汗をかくことも)。

<項目17> 学校は国際交流に積極的に努めていると思う



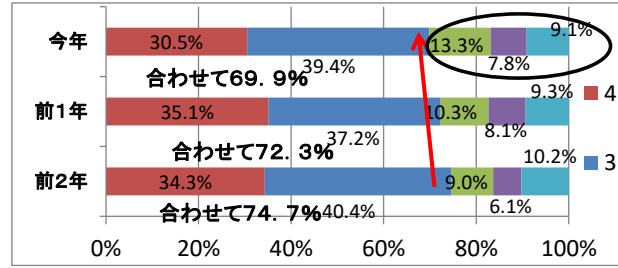
毎年の学校評価アンケートの中で、最も生徒からの肯定感が高い項目である。今年で「④+③」が88.7%。強い肯定感④だけで48.7% (約半分の生徒)。本校教育を特徴づけるものの一つ。グローバル化の流れの中で、この強みを更に充実させてゆく。

<項目13> 学校行事は充実し、魅力的に計画されていると思う



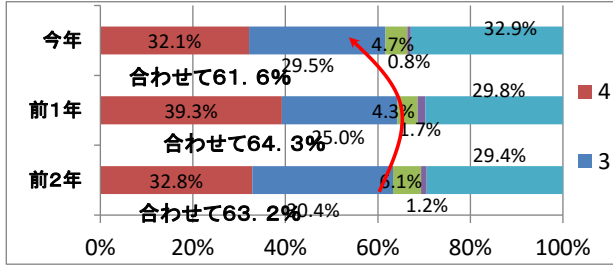
「④+③」の肯定感では、昨年比で-6.4%の減。強い肯定感④も-11.7%の減。文化祭や体育祭などを含む行事・式典等の内容が、前年比で今一つということか。一つ反省としてあえて挙げれば、諸々のイベントが「係り任せ」になっている傾向が強く、中身のチェック(当日の流れ等)が十分でない状況が時にある。

<項目18> この学校に入学してよかったと思う



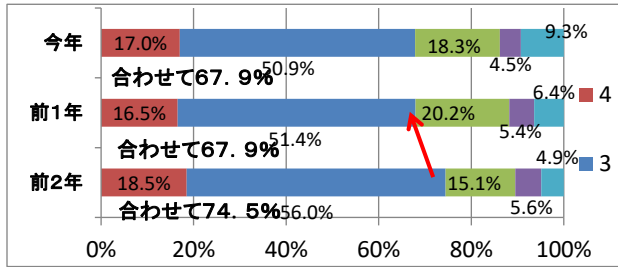
「④+③」では、年々減少しているのが気になる。強い肯定感④も今年が最低割合。一番最後の項目で、この「項目18」の学年別状況を示しているが、2学年生徒の肯定感がやや低く出ている。今年、否定的意見の生徒が21.1% (111名)、分からないが9.1% (48名)、丁寧に対応したい。

<項目14> スクールバスは安心・安全に運営されていると思う



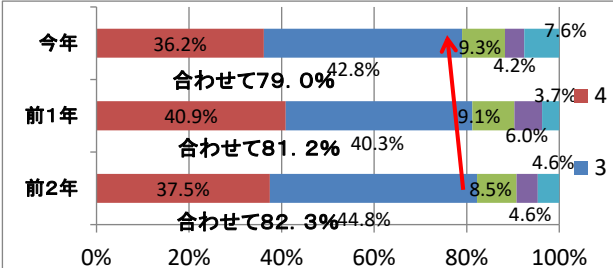
「④+③」の肯定感でみれば、今年が最低割合。強い肯定感④でも同じ傾向。今年、生徒が怪我をするような交通事故(加害)が2件起こってしまった。その影響が出ていると考えられる。今一度、我々は生徒の安心・安全に責任を負うことを自覚したい。

<項目19> 先生方は分かりやすい授業になるように工夫している



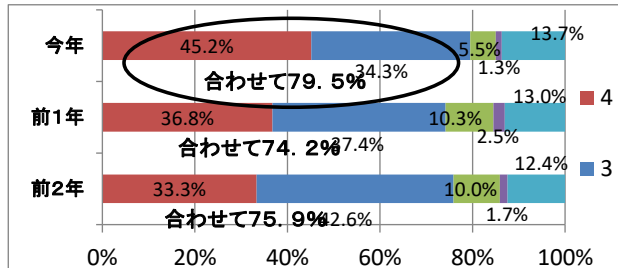
ここ2年間は、「④+③」の肯定感が毎年ほぼ7割。これを8割以上に高めたい。授業力向上のための研鑽・研修の機会をさらに増やしてゆく。この項目は、生徒の学校満足度に深く関わる要素である。更に更に、分かりやすく、テンポ、メリハリ、驚き…。すべては我々教師側の工夫にあると考えたい。それが我々の誇りでもある。

<項目15> 学校が明るく楽しいと感じる



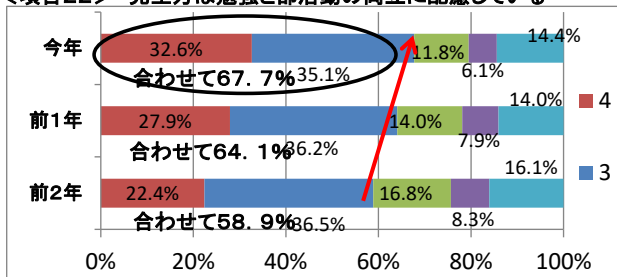
ジリジリと肯定感「④+③」が減少している。今年でいえば「④+③」が79%。一方、項目18の「入学して良かった」ではそれが69.9%。その差「9.1%」は何を意味するのか。明るく楽しいのだが、それで学校生活が良いとは思わない生徒がいるということか…。であれば、いたって健全である。

<項目21> 先生方は部活動の推進と技術向上のための指導に積極面に取り組んでいる



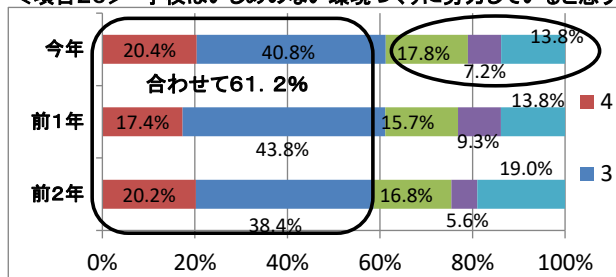
「④+③」で見れば、今年が過去最高の肯定感79.5%。強い肯定感④も同じ傾向。指導される先生方に感謝。来年度は、「新・部活動指導方針」が動き出す。活動場面での更なる工夫が求められる。方向としては、「時短・縮小・効率化」だろうと考えている。ご協力願いたい。

<項目22> 先生方は勉強と部活動の両立に配慮している



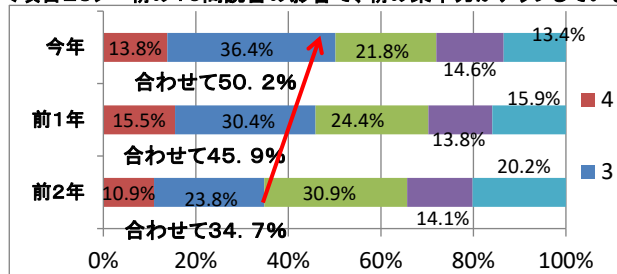
大変良い傾向が見える。年々、その肯定感「④+③」が上昇している。強い肯定感「④」もまた同じ傾向である。試験期間中の学習時間確保など、指導される先生方の配慮が生きてきた。感謝である。

<項目26> 学校はいじめのない環境づくりに努力していると思う



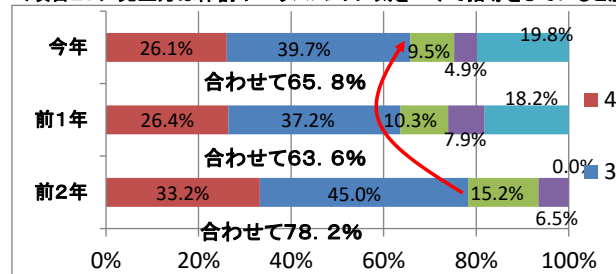
毎年、肯定感「④+③」が約6割。この項目では、否定的意見「②+①」や分からない「①」の割合に注目したい。今年で、「②+①」が25%（132名）、「①」が13.8%（73名）、これは多すぎる現状。更に、校内・授業内・教室内・部活動内に、規範意識等を浸透させる必要がある。

<項目23> 朝の10分読書の影響で、朝の集中力がアップしていると感じる



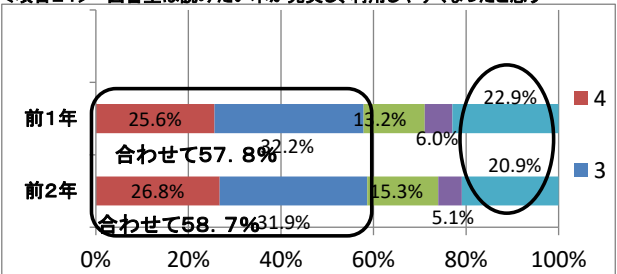
明らかに良い傾向が見える。「④+③」の肯定感推移が良好。前2年→前1年で+11.2%増、前1年→今年で+4.3%増。毎日の教室での読書指導が一つの効果を上げていることを裏付けるデータである。

<項目27> 先生方は体罰やハラスメントに気をつけて指導をしていると感じる



前2年と今年の肯定感「④+③」の差は、-12.4%の減。これは大きい。生徒の肯定感が下がって来ている。これは、学校への信頼感や満足感に影響する。私達は、今一度、様々な場面での「自分の言動」を点検したい。

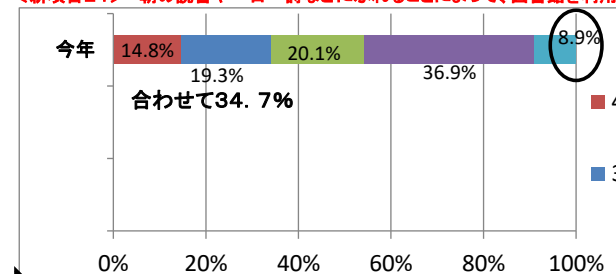
<項目24> 図書室は読みたい本が充実し、利用しやすくなったと思う



約6割の生徒が、「利用しやすくなったと思う」と回答する状況。「分からない」の割合が多い(生徒が足を運んでいないか)。

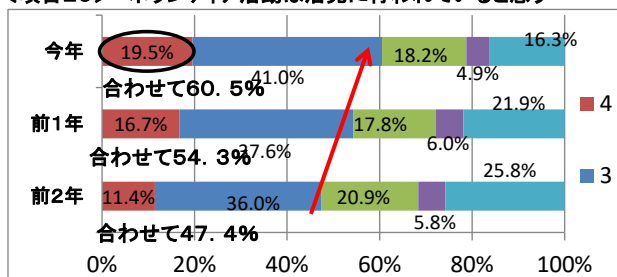
質問を変更

<新項目24> 朝の読書や一日一詩などにふれることによって、図書館を利用しましたが



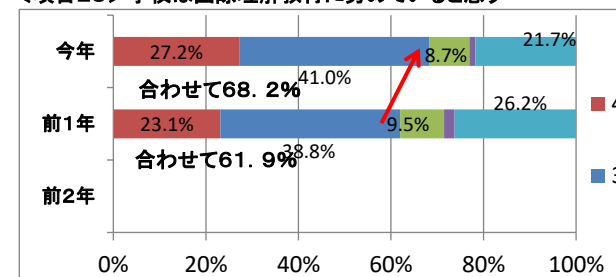
今年から、それをより明確に「利用しましたか」に変更。今後、利用数を上げる工夫を更に続けてゆく。「分からない」が減ったことは、実態をより明確に表していると考えられる。

<項目25> ボランティア活動は活発に行われていると思う



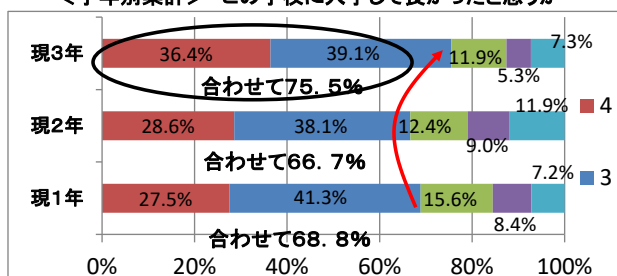
大変良い傾向が確認できる。肯定感「④+③」の割合が年々増加している。加えて、強い肯定感「④」も同じ傾向。更に良いことに「分からない」の割合も減。つまり、一部の生徒が行うボランティア活動が、他の生徒達にも認知されて来ているということである。

<項目28> 学校は国際理解教育に努めていると思う



国際交流活動についての高い肯定感「④+③」(今年88.7%)に比べるとやや低め。交流活動との違いを考え、生徒は回答しているようだ。国際理解教育。

<学年別集計> この学校に入学して良かったと思うか



高校3年生の肯定感「④+③」が、2年生に比すると高いのは、ほぼ予想通り。特に、就職・進学等で先生方にお世話になれば、信頼感や感謝の念が高まるもの。本校では2年生でやや落ち込む傾向が見える。慣れ・中だるみの影響か。全体として、肯定感が8割以上に達するよう工夫を続けたい。我々教員側の意識が求められる。